

報告ダイジェスト

- ・プチ・プチバカンス(たまり場ぱれっと日帰りバス旅行)報告(報告 1)
- ・新人紹介(報告 2)/親の会親睦会報告(報告 3)
- ・意思決定支援研修報告(報告 4)/Canva for NPO Day 2026 報告(報告 5)

報告 1 プチ・プチバカンス報告

●たまり場ぱれっと日帰りバス旅行

今回のプチバカンスは、“プチ・プチバカンス”と題して例年 1 泊している宿泊行事を日帰りで行ないました。旅先は、夏のバカンスということで、海を感じられる茨城県の大洗町にしました。参加者は総勢 43 名。初参加の方から、もう数えきれないくらい参加している方まで、一堂に会し濃い 1 日を過ごしました。

●大洗サンビーチで海を満喫

大型バス 1 台に全員乗り込み、まず向かったのは、海水浴場の大洗サンビーチです。この海水浴場は、たまり場ぱれっと職員の武井が学生時代からライフセービングの活動をしている場所でもあります。そのため、当日は監視や救護活動をしている大洗サーフライフセービングクラブのメンバーにサポートをしてもらいながら、安全に海を楽しみました。

●アクティブとゆったりコース

2 つのコースに分かれて活動する前に、参加者全員で玉入れ対決を行ないました。ライフセーバーがカゴを持って移動していくので、そのカゴに向かって砂浜に置いてある玉を投げ入れます。カゴが動くといういつもの玉入れとは違うやり方に新鮮さを感じながら、運動会のような盛り上がりを見せていました。

その後の海の活動は、海に入って思う存分アクティビティを楽しむコースと浜辺でゆったり過ごすコースに分かれて行ないました。

アクティブコースは、始めにライフセーバーの指示に従い皆で横 1 列になって隣の人手と手を繋ぎながら海に入り、水慣れをしました。その後、各々ボディボードやカヤックなどを教わり、波を感じ海を楽しみました。

浜辺でゆったりコースを選んだ人たちは、砂浜に設置されたテラスで休んだり、ダンスを踊ったりと思い思いの時間を過ごしました。

最後にライフセーバーの代表からお土産と修了証をもらい、皆でライフセーバーの方々にお礼をして次なる目的地に出发しました。

●海の後は水族館へ！

もう一つの目的場所は、大洗アクアワールド水族館です。関東で一番大きい水族館ということで、メインのサメをはじめペンギンやイルカなど見どころ満載でした。

始めに皆で鑑賞したイルカショーでは、海での疲れもあり眠ってしまう人も・・・いましたが、間近でショーを見られて満足の様子でした。

水族館の中には、充実したお土産屋さんや広いフードコートもあり、混雑を予想して早めにお土産を買ったり、アイスクリームを食べたりと過ごしていました。日曜日と言うこともあり、お客様はたくさんいましたが迷子にならずに無事に楽しむことができてよかったです。

●ご協力ありがとうございました！！

今年度は 2 月に雪あそび合宿を行なう予定です。引き続きよろしく願いいたします。

(たまり場ぱれっと 武井琴美)

おおあらい

大洗サンビーチ



大洗アクアワールド

おおあらい



お見送りも!!
ありがとうございました!



報告2

あたな なかま しょうかい
新しい仲間を紹介します。

おかし屋ぱれっとの新しい職員を紹介します。

はじめまして！ 関 孝(せき たかし)です。

約2か月間アルバイトをさせて頂き、9月からおかし屋ぱれっとの正職員になりました。

私が福祉の業界に入ったのは、高校の同級生に転職をしようか悩んでいる旨を話した時に「うちの法人、募集してるんじゃないかな」という何気ない一言がきっかけでした。同級生と一緒に働くということがなんだか、面白そう。ただ、それが理由でした。

そこは、精神に障がいがある方の作業所でした。A型？B型？工賃？聞きなれない言葉や状況。様々な専門職員の方との関わり、一人ひとりの当事者の方との関わりに戸惑う日々でした。

あっという間に10数年が過ぎ、放課後等デイサービスという新たな環境も経験しましたが、業種もふめ今後、どのような働き方をしようか考え、もう一度、福祉就労をやりたいと思い今に至ります。

よろしくお願いいたします！

通所員、職員みなさんと一緒に楽しみながらお菓子作りに携われたらと思っています。よろしくお願いいたします。

報告3

親の会主催 『親睦会』

8月21日金曜日、毎年恒例のぱれっと親の会主催の『親睦会』が開催されました。場所は前回から、飲食店ではなくリフレッシュ氷川の集会室を使用しています。

まずは井上さんの「これから繁忙期を迎えますが、みなで力を合わせて頑張しましょう」という一声でスタートしました。食事は豪華なお弁当で、普段なかなか食べる事のないメニューにあちらこちらから「美味し〜い」「すご〜い」の声が聞こえてきました。

場も和んだ頃、お楽しみゲームの始まりです。今回は『しりとりゲーム』でした。リズムに合わせて手拍子を打ちながら答える、という頭と体を使うゲームです。最初は、上手くリズムが取れなかったり、答えが浮かばなかったりしましたが、気づくとみんな上手にリズムに乗って、答えもポンポン飛び交っていました。「オランウータン」「みかん」など思わず『ん』が付いた言葉を選んでしまい「んが付いたー」「あーしまった」などと盛り上がりました。

その後は、プレゼントを賭けたじゃんけん大会をし、全員で『世界に一つだけの花』を合唱して終了です。親の会の皆様、ご企画ありがとうございました。

今年の繁忙期も頑張ろう！「エイエイオー！」



ローストビーフお弁当



☆しりとりゲーム☆



♪大合唱♪

報告 4 「意思決定支援」実践講座を受けてきました

7 月 15 日、東京都障害者通所活動施設職員研修会の実践講座を受けてきました。今回の研修では「意思決定支援」とはどのようなことかについて学び、実際に明日から現場で活かせる業務のヒントになればという研修でした。

「意思決定支援」とは、「決めなければいけない」という誤認を助長せず、「この人になら言える・伝えられる」の関係をつくり、権利擁護（その人らしい生活を支える支援）をすることである、など基本について講演を聞きました。

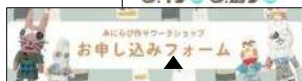
もうひとつの課題として「リスクのとらえなおし研修」の講義とグループワークを行ないました。

「リスクのとらえなおし」とは、障がいのある人などがリスクのある経験を行なう時の支援のありかた、「弊害を最小限にしながら、できるだけ本人の選好を尊重して、リスクのある新しい体験への取り組みを支援するにはどうしたら良いか？」ということで、これもその人の選好や希望を前に進める、チャンスを活かす方法を考える意思決定支援の方法のひとつです。グループワークでは例題が出され、ネガティブな結果とポジティブな結果をあらゆる視点から意見を出し合いました。意思決定支援における支援側として、何を提供すべきかではなく、本人が何を言いたいのか、何を望んでいるのかを聞くこと・知ることが重要だという事を忘れずに実践して行こうと思います。

（おかし屋ぱれっと 納富麻由）

報告 5

キャンパフォーエヌビーオーデイ Canva for NPO Day 2026



実際に製作したフライヤー

7 月 3 日、地域共生サポートセンター＜結（ゆい）・しぶや＞にて、Canva 非営利コミュニティ「Canva Village」主催、「Canva for NPO Day 2026 見て知って体験！非営利分野のCanva活用最前線」に参加しました。

Canvaとはオンラインで使えるビジュアルツール（情報の視覚化アプリ）です。ポスターやチラシの作成以外にもSNS投稿用の画像や動画編集も可能で、AI機能をメインに搭載しており、製作の効率化を高めていることが特徴です。非営利団体（NPO）向けには、通常有料のProバージョンが無料で提供されており、世界中のNPOが活用しています。

会場ではCanvaの使い方や実際に作られたデザインの展示がありました。また、公式のクリエイターさんが参加しており使用方法を丁寧に教えていただきました。今後は、新しいツールを業務に役立てたいと思います。

（工房ぱれっと 江成 葵）